



平成22年 5月10日

各 位

本 社 所 在 地 東京都港区赤坂三丁目21番20号
 会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
 代 表 者 の 役 職 名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
 (コード番号: 2410)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 局 長 岡 本 智
 電 話 番 号 03-3560-1601
 (URL <http://type.jp/ir/>)

第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正 ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

平成21年11月13日に公表しました平成22年9月期第2四半期累計期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日）の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想の修正ならびに剰余金の配当についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想数値との差異

平成22年9月期第2四半期累計期間 業績予想との差異（平成21年10月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	938	△294	△298	△299	△5,061.78
今回実績(B)	793	△344	△342	△343	△5,800.29
増減額(B-A)	△145	△50	△44	△44	-
増減率(%)	△15.5%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成21年9月期第2四半期)	1,396	△537	△522	△596	△10,079.48

2. 通期業績予想の修正

平成22年9月期通期 業績予想の修正（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,435	13	5	1	29.71
今回修正予想(B)	1,851	△430	△431	△434	△7,337.76
増減額(B-A)	△584	△443	△436	△435	-
増減率(%)	△24.0%	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成21年9月期)	2,102	△1,248	△1,245	△1,434	△24,281.97

3. 第2四半期業績予想との差異および通期業績予想修正の理由

(1) 第2四半期業績予想との差異

平成22年9月期第2四半期累計期間における国内経済は、世界的な金融危機に端を発した景気低迷の動きが依然として継続しているものの、一部の企業におきましては徐々に業績の回復が進む等、ゆるやかに景気の持ち直しの動きが見られて参りました。また、国内の雇用情勢におきましても、採用活動を再開する動きが顕著になっており、求人企業の採用意欲が改善され始めております。

しかしながら、当社の第2四半期累計期間におきましては、求人企業の多くが3月決算であり、年度中における採用予算縮小の動きが依然として強かったこと等から、売上高が前回予想を下回る厳しい結果となりました。

(2) 通期業績予想の修正

平成22年9月期通期におきましては、景気後退の影響により新規採用活動を抑制しておりました求人企業が、4月以降の新年度に伴い採用意欲が大幅に改善され、採用計画の見直し・採用予算が増加すると想定しておりました。そのため、平成22年9月期通期における前回予想は、上半期に計上する経常損失を、売上高が改善される下半期に大幅な経常利益を計上し、通期で黒字化を実現する計画で取り組んで参りました。また、前回予想におきましては、下半期の売上高が対前年比200%を超える水準を見込んでおりましたが、業績の改善が当初の想定には至らず、下半期の売上高は対前年比約150%の着地の見通しとなりました。その結果、下半期における黒字化を実現することは難しく、平成22年9月期通期における売上高・各段階損益を下方修正せざるを得ない見通しとなりました。

しかしながら、平成22年3月における当社の受注高（売上高は下半期に反映される見込み）は大きく改善されており、下半期における黒字化を実現することは難しいものの、経常損失は上半期の342百万円から、下半期は89百万円に大幅に改善される見込みであります。尚、第4四半期におきましては、黒字化を実現できる見込みとなっております。

4. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	未定	未定	未定
今回実績	-	未定	未定
当期実績	-		
前期実績(平成21年9月期)	-	0.00	0.00

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、内部留保充実の必要性と財政状態等を総合的に勘案した上で、経営成績にあわせた利益配分を基本方針としております。

第2四半期末配当につきましては、上記第2四半期業績予想との差異に記載の通り、計画を下回る業績となったことから、第2四半期末における配当金は前期同様見送らせて頂きます。尚、期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

(注) 上記業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上